

NETZ TOYAMA Racing

Race Report 2019 / Vol.3



大会名称	TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 関東シリーズ Rd.1
開催日程	2019.4.21
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	#123 NETZ TOYAMA Racing VITZ
ドライバー	山口 竜也
参加台数	66 台
予選順位	36 位 (2' 19.888)
決勝順位	33 位

NETZ TOYAMA Racing #1 2 3 _ VITZ の今シーズン初のレースとなった、ここ富士スピードウェイ。富士山からの吹きおろし風で寒暖の差が激しく、レースウィーク初日の木曜日はまだ桜が満開に咲いていた。ドライバーは昨シーズンまで、長らくチームを牽引してきた富山西店エンジニア高長泰之から砺波店エンジニア山口竜也を起用し新たな挑戦に挑む。山口竜也は、昨年ネットヨタ富山に入社したばかりの若干 21 歳の青年だ。愛車は VITZ GRMN。休みの日には地元サーキットへ通う根っからの走り好きだ。普段は、当社砺波店でメカニックとして先輩から技術を学ぶ、まだまだ半人前の身だ。メカニックは一人前になるまでに何年も時間を要す。しかしレースの世界は違う。ベテラン、新人、男や女なんて全く関係のない。ただ速く走れるかどうかだけの世界。皆、同じ土俵で自分の力を試せるのがレースの醍醐味だ。

今回の参加台数は 66 台 (A 組 33 台・B 組 33 台)。#1 2 3 _ VITZ は B 組。全国各地より自分の腕を試したい 66 名のドライバーたちが集結した。公式戦初デビューとなる山口竜也。目標は、まず予選を突破することだ。4 月 20 日 11:15 グリーンシグナルが点灯しコースオープンとなった。

各車両、我先にとコースへ飛び出していく。山口竜也も極度の緊張状態の中、初のデビュー戦の公式予選に挑んだ。1 周のインラップを終え、静かにアタックを開始する。1 アタック目は 10 位。しかし後続車両が 2 度目のアタックを終えると徐々に順位が落ちていく。12 位、16 位、19 位と最終的に 21 位までポジションダウン。何度アタックしても 1 周目のタイムを超えられない。ところが最終アタックの 5 周目。レクサスコーナー→最終コーナー→メインストレート。計測ラインを超えた瞬間、2' 19.888 のベストタイムを記録し 18 位に浮上する。その後 20 分という予選時間が終わり B 組 18 位となる。

最終的な順位は総合 36 位。

デビュー戦にしては上出来な予選結果だ。チーム全員が握手し健闘を分かち合った。



NETZ TOYAMA Racing

GR TOYOTA GAZOO Racing

Netz Cup

Vitz Race

20th ANNIVERSARY SINCE 2000

Race Report 2019 / Vol.3

大会名称	TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 関東シリーズ Rd.1
開催日程	2019.4.21
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	#123 NETZ TOYAMA Racing VITZ
ドライバー	山口 竜也
参加台数	66台
予選順位	36位 (2' 19.888)
決勝順位	33位



4月21日 決勝レースは8LAPで行われた。

富山からは息子、そして孫の雄姿を一目見るために山口竜也の母、祖母が駆けつけていた。

決勝レースは54台もの車両が一斉に走行する。タイムアタックのみの予選とは違う技術も必要で、間合いや駆け引き、どんなことがあっても冷静にクルマを操らなければクラッシュやポジションダウンに繋がる。

スタートと同時に1コーナーへ54台が一斉に飛び込む。一番接触の多いコーナーだ。 #123_VITZも車群の流れに身を任せ1コーナー→Aコーナー→100Rへと進んでいく。接触のないとてもクリーンなレース展開だった。初めてレースに出る初心者とは思えないほどの走り。コースサイドで見守っていたチームクルー全員がとても清々しい気持ちになっていた。孫の健闘ぶりを見た祖母の目には涙が溢れていた。

こうして、あっという間に規定周回数の8LAPを消化しチェッカーとなった。結果は、上位陣のリタイヤもあったが自力で1台をパスし33位だった。十分すぎるデビュー戦だった。ここへ来た日は満開だった桜も、決勝レースが終わった最終日にはその花びらの大部分が散っていた。こうしてNetz Cup Vitz Race2019 関東シリーズ第1戦、そして山口竜也のデビュー戦が幕を閉じた。

